

# おうち

第18号  
2011.2

テーマ

## 「やさしさ」

特集 ・アンケートの結果

「『やさしさ』は『本能』である」

宇都宮大学教育学部教授 青柳 宏 先生

子どもと読みたい一冊 「くじけないで」 柴田 トヨ 著

とちぎの幼・保・小連携



表紙絵 「うさぎ」  
なかじま めい ちゃん(年長)



表紙絵 「ゆうえんち」  
よこた りりこ ちゃん(年少)

## 「やさしさ」は「本能」である

宇都宮大学教育学部教授 青柳 宏



フランス・ドゥヴァール著『共感の時代へ…動物行動学が教えてくれること』(紀伊國屋書店)

を読むと、人が人に共感するのは本能であるということがよく分かります。改めて、学問的に、人が人に共感する存在であるということが証明されたとしてもよいかもしれません。

ただ、この「共感する」という大切な本能がブロックされてしまうことがあります。例えば、競争的な環境に置かれれば、人は他の人に共感しづらくなります。「何とかして相手に勝たなければならぬ」という環境に置かれてしまうと、本能としての共感が、「勝たなければ」という意識によってブロックされてしまうわけです。

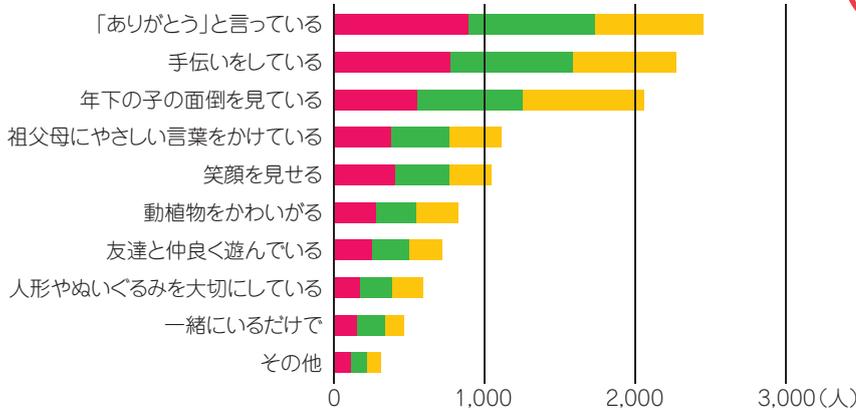
ところで、『共感の時代へ』という本の内容をかまえた上で、私が一番主張したいことは、「子どもは(そして大人も)いつも、自分のやさしさを示したいと思っている存在である」ということです。どんなに普段「悪さ」が目立つ子でも、人に共感する力をもっています。だから、その子は人にやさしくしたいのです。でも、その時、その子が本当に「やさしい子」になるためには、他の誰かによって「認められる」ことが必要なのだと思います。普段「悪さ」ばかりしている子が、ふっと示した「やさしさ」を、誰かに「あなたは本当にやさしいのね」といつか心に認められたら、その子は人として「やさしい」への道を歩き出すことができるのではないのでしょうか。だから、私たち大人にとって大切なのは、「あの子(人)は悪い人」という偏見の目を捨てて、その子のやさしさの本質を見る、ということだと思います。

# 「やさしさ」

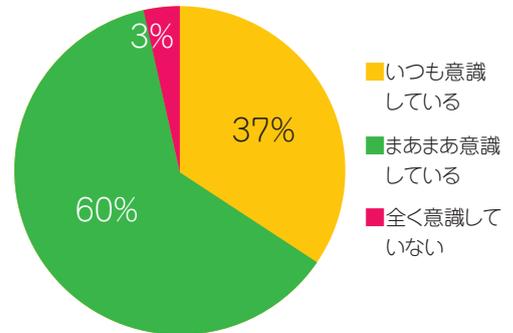
今回は、やさしさについて、アンケートに答えていただきました。  
(対象:県内の3~5歳の子をもつ保護者 回答数:6,764件)

**Q1** うちの子やさしいなと感じるのは  
どんなときですか。

■年少 ■年中  
■年長



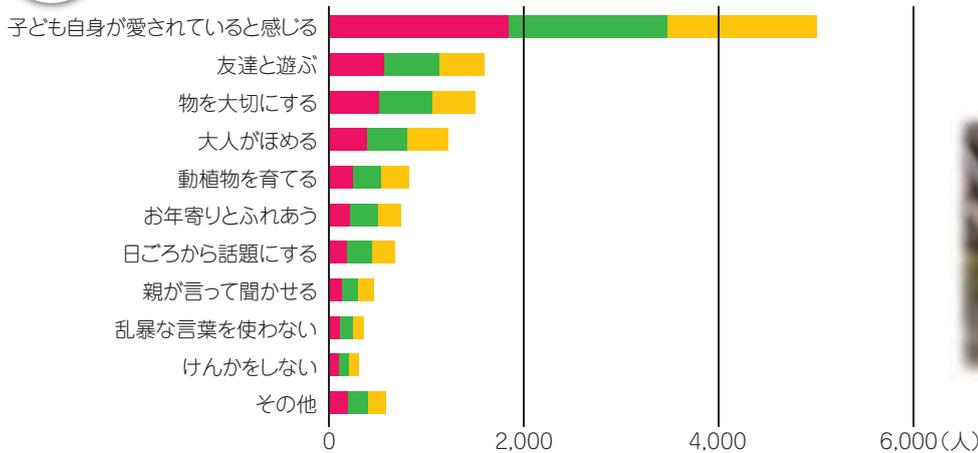
**Q2** 子育ての中でやさしさを  
育むということを  
どれくらい意識していますか。



○ほとんどのご家庭で、やさしさを育むことを意識して子育てをしていることがわかります。  
○上位3項目から、大人の姿をまねたり、家族の気持ちを察して行動したりしている子どもの姿がうかがえます。

**Q3** やさしさは、どのようなことで育つとお考えですか。

■年少 ■年中 ■年長



ママだ〜いすき♡



○「子ども自身が愛されていると感じる」が他の項目をはるかに上回っています。  
○「けんかをしない」の回答が少ないことから、けんかもやさしさを育むために大切な、友達とのかかわりだと考えていることがうかがえます。

## やさしさについての自由意見

何かをしてあげることだけが  
やさしさではないですね。



相手のためを思って厳しいことを言ったり、本気で叱ったりするのも、やさしさだと思う。

子ども自身がどれだけ大切な存在かを繰り返し伝えることが大切だと思う。

何かを「してあげる」のではなく、純粹に「してあげたい」と思うこと…見返りを求めない愛情が、本当のやさしさなのかなと思う。

周囲の人が優しくしている姿を見て、子どもはまねをする。手本になれる大人になりたい。

やさしさは教えることではなく、たくさんの人とのふれあいの中で育つものだと思う。

自分を好きになることで、他人にもやさしくできると思う。



お姉さんって、やさしいなあ。



もう少しでのぼれるよ



がんばれ! がんばれ!

いたいのいたいのとんでけ!



## 幼稚園・保育所で見つけた!! やさしさ名場面 ~お友達や先生とのかかわりの中で~

くまさん いっぱい食べてね



すいかさん、うめぼしさん、大きくなあれ。

大丈夫? もう泣かないで。



私たち大人は、我が子にやさしい子になってほしいと願い、「お友達と仲良くしなさい。」「困っている人がいたら助けてあげなさい。」など、目に見える価値を要求しがちです。

しかし、子どもは本来、いるだけでやさしさを感じさせてくれる存在です。あたりまえだと思っている子どもの笑顔や時折見せる思いやりの姿などを、しっかり受け止めてあげることが、子どもの中の自己肯定感を育みます。「ぼくがいると家族みんながうれしいんだ。」という気持ちが、やさしさの種になるのかもしれない。



栃木県教育委員会では、幼児期には主に「優しさ(やさしさ)」を、小・中学校の段階では主に「聡さ(さとさ)」を、高等学校の段階では主に「逞しさ(たくましさ)」を育て、人格形成の基盤づくりをすることが重要であると考えています。

みんなで一緒に栃木の子どもを育てていきましょう。



### 子どもと 読みたい一冊

## 「くじけないで」

柴田 トヨ 著 飛鳥新社

今年で100歳を迎える栃木県在住の素敵な女性の詩集。読んでみると心がポカポカしてきます。



「くじけないで」  
柴田 トヨ 著 飛鳥新社

貯金  
私ね 人から  
やさしさを貰ったら  
心に貯金をしておくの  
さびしくなった時は  
それを引き出して  
元気になる  
あなたも 今から  
貯金しておきなさい  
年金より  
いいよ

## とちぎの幼・保・小連携 ⑧幼稚園教職10年経験者研修&小中20年目研修

栃木県教育委員会では、幼稚園に10年間勤務された先生方を対象に「幼稚園教職10年経験者研修」を行っています。今年度は、県内各地から30名の先生方が熱心に研修に参加されました。

今回は、その中から昨年11月11日に総合教育センターで実施した内容を紹介します。この日は、幼稚園の先生方と小学校・中学校の教職20年目研修の先生方が「幼稚園・保育所・小学校の連携」について一緒に研修を行いました。幼稚園や保育所で年長(5歳児)の様子や小学校1年生の授業の様子をVTRで視聴し、共通点や相違点を話し合ったり、幼稚園や保育所から進学した子どもたちが楽しく小学校生活に適應するための方策を考えたりしました。

参加した幼稚園の先生からは、「小学校の先生と直接話をして、就学までに意識して取り組むべきことが分かった。」「国語や算数の教科書を見せてもらい、幼稚園では、遊びや生活の中で文字や数に親しむことが大切だと感じた。」などの感想をいただきました。一方、小学校の先生からは、「幼稚園では遊びの中でたくさんのことを学んでいることが分かった。」「1年生の力を信じ、小学校への期待やあこがれを生かした授業をしていきたい」などの感想をいただきました。

このように、幼稚園と小学校の先生方が顔と顔を合わせて語り合うことは、全国でもめずらしい貴重な研修です。幼稚園の先生と小学校の先生が同じ気持ちで子どもを見つめることは、子どもにとって最高の幸せではないでしょうか。



自由意見で寄せられた声です

### 掲示板

子育てに責任を感じすぎ、自分自身がいっぱいいっぱいになってしまう親が多いと思います。大切なのは、自分のペースで親も一緒に成長することではないでしょうか。

子どもが悪いことをしても叱らない親が増えてくるような気がします。うちの子よその子関係なく声をかけたいです。

食事は、大切なんだなあと改めて思いました。私も子どものころ、祖母が作ってくれた「なべ焼き」を今でも食べたくなります。

「おうち」を読んで、全ては無理だけど、よいと思ったことは少しでも生活に取り入れようと思っています。家族みんなで読んでいます。

### ★アンケートのお願い★ 次回テーマ 「お手伝い」

「おうち」は皆さんの声で構成する情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出しください。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。



### 家庭教育ホットライン(保護者専用) TEL 028-665-7867

保護者の皆さん!お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?秘密は絶対に守ります!一人で悩まず気軽に御相談ください!

受付時間 午前8時30分~午後9時30分 毎日(日曜日を除く)

※上記時間以外と日曜日は留守番電話・FAX(電話番号と同じ)で対応しています。

栃木県教育委員会

### とちぎテレビ番組 「とちぎ教育新事情」のご案内

「おうち」第18号に関するテレビ番組を放映します。

日時:平成23年3月20日(日) 10:05~10:25

再放送:平成23年3月21日(月) 12:00~12:20

「おうち」は、栃木県教育委員会の「幼児教育センター」が、幼児教育についての情報を提供するために発行しています。バックナンバーはホームページで読むことができます。(アドレスは下欄参照)

栃木県幼児教育センター

検索

幼児教育情報誌「おうち」第18号 平成23年2月発行

発行者 栃木県幼児教育センター 〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

URL:<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/> e-mail:[yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp](mailto:yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp)

